

# Feature

## 使いたいときにさっと使えるストレスフリー設計

シンプルに心地よく使えるような快適操作を追求しました。

### 給紙カバー（原稿台）

A4サイズの紙を給紙カバーのエクステンションを伸ばすことなく安定してセットできます。



### スタッカー

スタッカーを引き出す導線をストレートにし、ワンアクションで引き出せます。



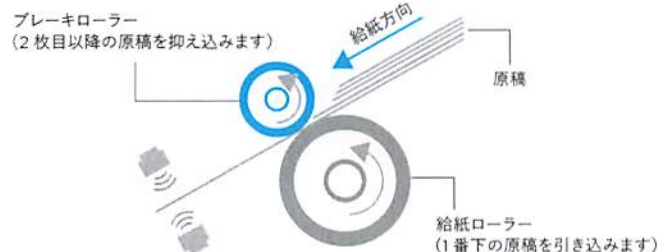
## 安定した給紙を実現

世界トップシェアの業務用スキャナー<sup>※</sup>で培った給紙技術を継承し、「ブレーキローラー」による原稿分離方式を採用。原稿を1枚ずつ高速に送り出すことが可能になり、マルチフィードによる読み取りエラーを抑止します。



※ドキュメントスキャナーを対象とする。

日本・北米はKEYPOINT INTELLIGENCE社 (InfoTrends) により集計 (2017年実績) ドキュメントスキャナー集計より Mobile/Microを除く6セグメントの合計マーケットシェア (主に8ppm以上のドキュメントスキャナー全体) 欧州は infoSource社 (2017年実績) の集計に基づく、西欧地区 (トルコとギリシャを含む) におけるシェア



## 「超音波方式マルチフィードセンサー」を搭載

業務用スキャナーで好評な「超音波方式マルチフィードセンサー」を搭載。マルチフィード (複数枚数重なった状態での紙送り) を確実に検出し、トラブルを未然に防ぎます。



## 優れた搬送性を実現するための機能

スキュー (原稿が傾いて給紙されること) を抑える優れた機能を搭載しています。

- 「サイドガイド (原稿の突き当て)」の長さを充分に確保しています。
- 原稿を分離する部分の圧力 (分離部付圧力) を高めています。
- 上に載っている原稿がおもりとなり、給紙安定性のよい「下取り給紙方式」を採用。



## 「縦筋軽減」機能で、きれいなイメージデータを保存

画像に縦筋が入る場合に画像処理により縦筋を軽減します。



- ※検出条件に合った縦筋だけが軽減されます。
- ※ScanSnap Home、ScanSnap Cloud利用時。

## 「GI」プロセッサによる高速処理

デュアルコアCPUを搭載した「GI」プロセッサを採用。スキャナー本体での画像処理実現と共にWi-Fiにも対応。コンピューター、スマートデバイスのどちらでも、ストレスを感じることなく原稿を電子化できます。

# Network

## クラウドサービスへの直接連携がさらに進化

「ScanSnap Cloud」との連携で、4つの原稿種類のクラウドサービスへの自動振り分けを実現。さらにiX1600はタッチパネルで指定したクラウドサービスへの直接連携を可能にしました。

※詳しくは、21ページをご覧ください。



クラウドサービス

## Wi-Fi 2.4GHz/5GHz帯に対応

2.4GHz帯に加え、5GHzの周波数帯にも対応。5GHzの周波数帯は電波干渉に強く、安定した通信が可能です。5GHz帯のみで運用されている学校や、企業でも安心してご利用いただけます。



## Wi-Fi環境に合わせた2つの接続モードに対応

### アクセスポイント接続モード

オフィスやホームなど、Wi-Fi環境がある場所では、アクセスポイント経由でコンピューター、スマートデバイスと接続します。

### ダイレクト接続モード<sup>※</sup>

外出先や移動中など、Wi-Fi環境のない場所では、iX1600がアクセスポイントとなり、コンピューター、スマートデバイスと直接接続します。

※ダイレクト接続モードの場合は、2.4GHz帯のみとなります。